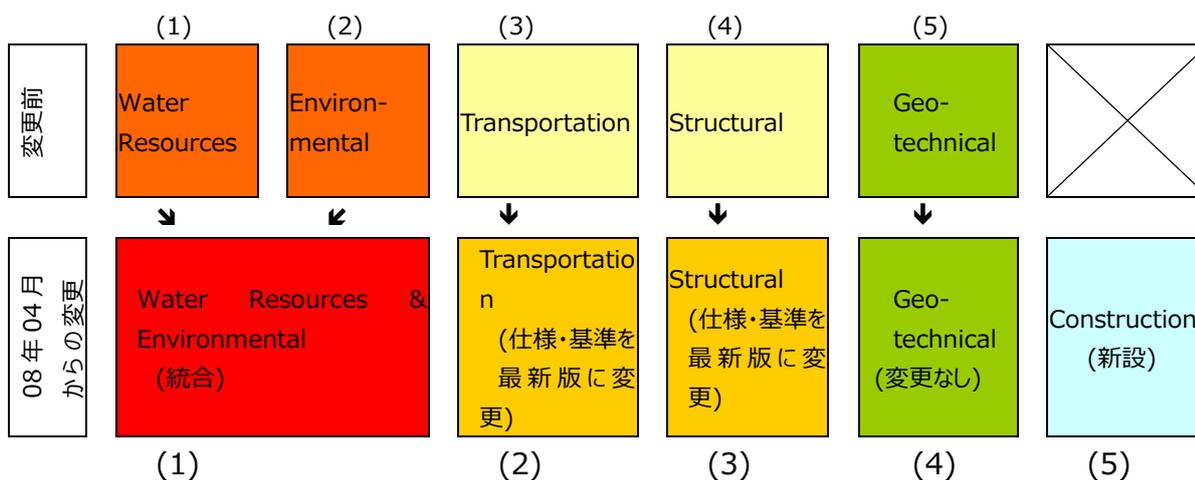


NCEES は本年 4 月からの PE 試験を対象に、試験の仕様および試験内容を以下の様に変更しました。既存の水資源 (Water Resources) および環境 (Environmental) の専門分野は、1 つのモジュールに結合され、新しく建設工学 (Construction Engineering) が加えられました。変更内容をまとめて次表に示します。



新設した建設工学専門分野の内容を右図に示します。NCEESは、企業、政府および学術的な業界で働いている認可されたエンジニアの調査を定期的に行っています。この調査結果を基に、試験内容の変更の必要性が確認されます。したがって、今まで設計の経験を重視していた PE 試験に建設工学が加えられたことは大きな変化を意味しています。米国での工学系学生の就職傾向は変わっている事が背景にあると考えられます。

調査によると、少なくとも土木工学卒業生の四分の一は施工関係のキャリアを選んでおり、ABET 認定を取得した施工を教える建設工学科が増えつつあります。これまで、日本で PE - Civil に合格しているエンジニアの大半は、設計業務に携ったことがある技術者であった可能性が高いのですが、建設分野を新たに追加されたことによって、今後は、施工管理の経験を持っている日本の土木技術者も PE 資格取得に挑戦することが容易になったと言えます。

更なる詳細情報：

- PE 試験で使う仕様書について：

http://www.ncees.org/exams/professional/pe_design_standards/

- PE Civil 試験内容について：

http://www.ncees.org/exams/professional/pe_civil_exams.php

新設のConstructionモジュールの内容：

- 土工・施工測量
- 積算
- 施工計画立案・工程
- 施工機械・施工工法
- 建設材料の品質管理と製作
- 仮設備
- 施工に関する設計基準：
 - ★ 施工荷重 (ASCE 規定)
 - ★ 木材設計 (NDS 規定)
 - ★ 鋼材設計 (AISC 規定)
 - ★ コンクリート型枠 (ACI 規定)
 - ★ 建設業の労働安全・衛生基準 (OSHA 連邦規定)